

チゴガニの分布

■チゴガニの分布の拡大

チゴガニは泥地を好む小型のカニである。蒲生干潟は砂地の面積が大きく、チゴガニの分布は狭い範囲に限られていた。今回の調査では、昨年まで観察できなかった地域でチゴガニの生息が確認できた(Fig.1,2)。他にもアシハラガニ、コメツキガニ、ケフサイソガニ、ガザミの生息が確認された(Fig.3)。また、鳥に捕食されたと思われるモクズガニの死骸(Fig.4)も多数確認され、七北田川から繁殖のために移動してきていると考えられる。

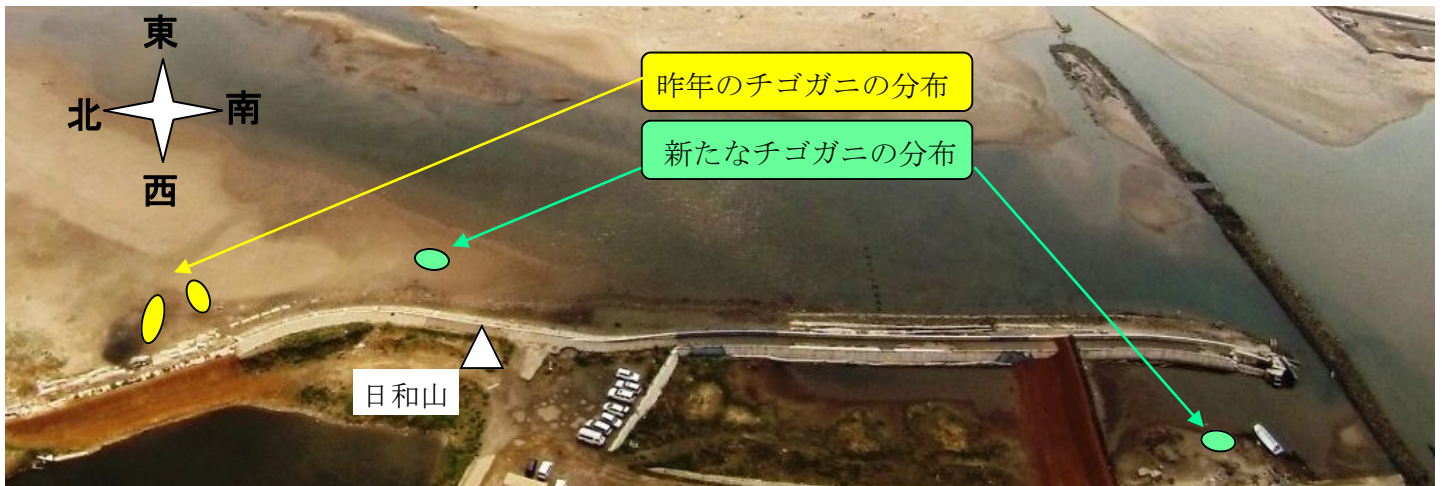


Fig.1 チゴガニの分布

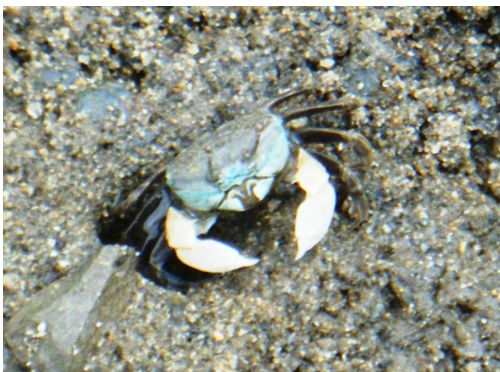


Fig.2 チゴガニ



Fig.3 ガザミ等



Fig.4 モクズガニの死骸



Fig.5 イシガレイ(最大の個体)

■6月のイシガレイ

今回の調査では18匹のイシガレイを採集し、平均全長は5.64cm、最大の個体で7.5cmであった(Fig.5)。過去3年、この時期の全長は7cm前後であり例年と比較して小型であるが、先月の値(4.76cm)と比較すると順調に成長していると考えられる。

(佐藤 賢治)